### 臨床ケース1

# 前歯部叢生の抜歯症例にて大臼歯のアンカーロスが許されないリンガルのケース







### 治療経過

第一小臼歯抜歯後前歯部のレベリングと同時にエクステンションアームを用いて犬歯の遠心移動を行っている。



### 治療経過2

エクステンションアームから 牽引されたループを牽引し前 歯部のリトラクションを行っ ている。



治療経過

治療後半でエクステンション アームのデザインを変更し右 側の空隙閉鎖と同時に正中 補正を行っている。

### 臨床ケース2

# 上顎前突の抜歯症例にて大臼歯のアンカーロスが許されないラビアルのケース







## 治療経過1

第一小臼歯抜歯後、エクス テンションアームを用いて前 歯部のレベリングと遠心移動 を行っている。



### 台療経過 2

類側のアーチワイヤーからパワーアームをビートルに延長し前歯部のリトラクションを行っている。



### 治療経過3

治療後半でエクステンション アームを変更し正中補正を 行っている。

販売名:ビートル 認証番号: 231AKBZX00022000 販売名: デュアル・トップ オートスクリューⅢ 承認番号: 22400BZX00302000

画像資料提供:五橋デンタルクリニック 佐藤 廉也先生

### 製造販売 業 者

# 株式会社プロシード ProSeed

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-13 東信青山ビル TEL 03-5468-1666 FAX 03-5468-1650 URL http://www.proseedcorp.com

製造業者 Jeil Medical Corporation, Korea

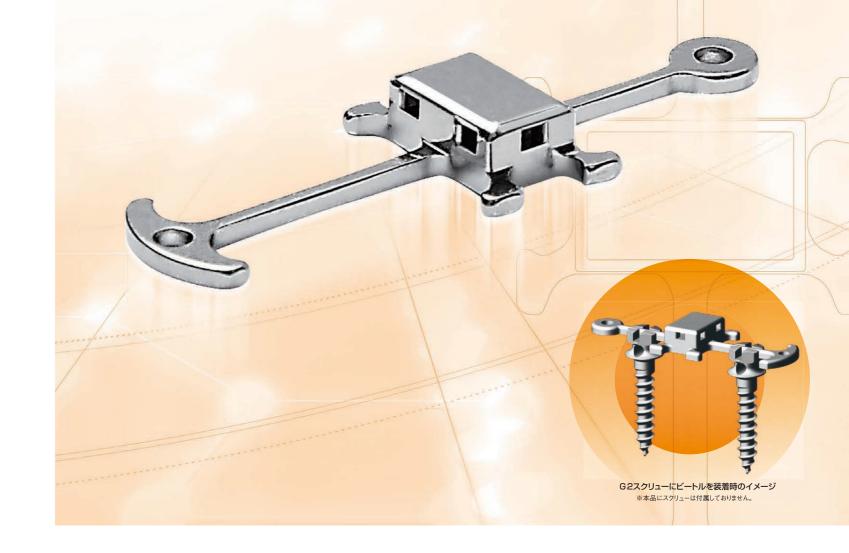


歯列矯正用アタッチメント

# 世一行

# 口腔内のハブステーションで 歯科矯正治療は進化する

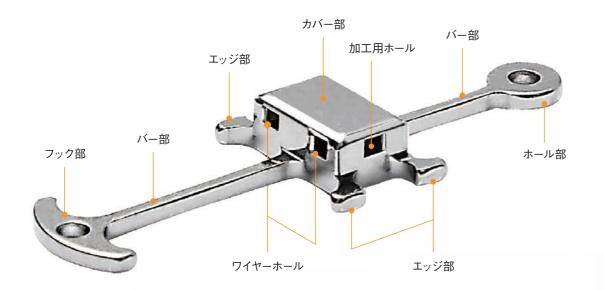
●歯科矯正用アンカースクリューに装着し 多様な矯正力を付与します

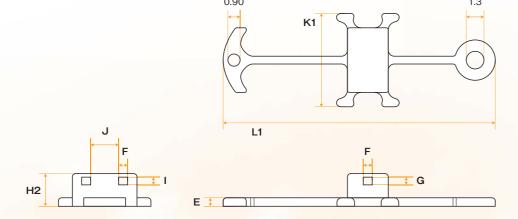




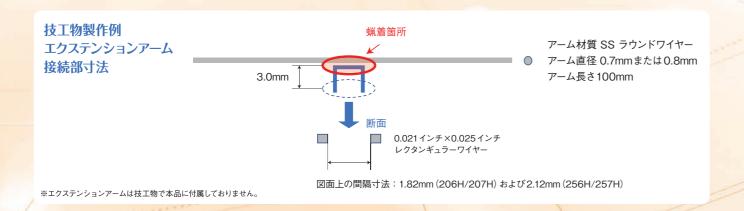


# 各部名称





型番	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H2 (mm)	I (mm)	J (mm)	K1 (mm)	L1 (mm)
AP-SA-206H	0.65	0.64	0.55	2.00	0.55	1.82	6.6	18.8
AP-SA-207H	0.65	0.64	0.55	2.00	0.55	1.82	6.6	19.8
AP-SA-256H	0.65	0.64	0.55	2.50	0.55	2.12	6.9	19.3
AP-SA-257H	0.65	0.64	0.55	2.50	0.55	2.12	6.9	20.3



# 操作の流れ

# 1 スクリューの植立

デュアル・トップ オートスクリューⅢ (G2) を口蓋正中部に近遠心的に2本、ヘッド部中央間隔で8-12mmになるように植立します。

植立後、正中縫合に対してスクリューヘッド部もホール が直角になるように方向調整をしながら増し締めを行 います。



# **分** 技工作業

バー部分をスクリューヘッドのスロットに合わせて装着できる様に調整します。 エクステンションアーム等のワイヤー技工物を治療目的に合わせて製作します。



# 2 口腔内セット

バー部分をスクリューヘッドのスロットに押しこみ嵌合させます。リガチャーワイヤーをスクリューのホールに通してバーとスクリューを固定し、より強固に固定する為にフロータイプのコンポジットレジンでスクリューヘッドを被覆します。



# 4 エクステンションアーム 2種類の固定方法

エクステンションアームのビートルへの接続方法は 2種類あります。

- ①リガチャーワイヤーを二重にして、たすき掛けし、 1 本で固定する方法。
- ②カバー部の左右エッジ部に、それぞれリガチャー ワイヤーを結紮して固定する方法。

